

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通計画に基づく事業)

令和6年1月12日

協議会名:四万十市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
高知西南交通株式会社	後川エリア	<p>①収支率について、過去2年間を通して減少が続いているため、その要因分析と対策を検討。</p> <p>→後川エリアは、新型コロナウイルス感染症収束に伴い利用人数が増加した。このことにより収支率も対前年度+1.7%となった。</p> <p>西富山・蕨岡エリアについては利用者、収支率ともに前年度と同様の結果となった。利用者の増加に向けた、利用促進に取り組み、認知度の向上を図る。</p>	<p>事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった</p> <p>・計画年度内、計画運行回数について後川エリアは1,065回の計画に対し509回、西富山・蕨岡エリアは621回の計画に対し190回と両エリアともに計画運行回数を下回る結果となった。</p> <p>・利用者数については、両エリアとも減少することは無かったが、これまで利用をしてこなかった人への利用促進、啓発活動が行えず両エリアともに運行回数の増加とはならなかった。</p>	<p>A</p> <p>【目標達成率】113.2% (目標:1,632人/年、5.5人/日) 【実績】1,848人/年、6.2人/日 (対前年比:133.6%) (対前々年比:119.2%) 【収支率】3.5% (前年比:+1.7%) (前々年比:-3.5%)</p> <p>新型コロナウイルス感染症収束に伴い利用者数がコロナ禍前の利用者数に戻り目標値を上回る結果となった。</p>	<p>・これまでバスを利用してこなかった人に利用してもらうために、広報誌に利用方法等の情報を定期的に掲載することで、認知度の向上を図る。</p> <p>・利用者アンケートを実施し、利用状況に応じた適切な運行形態を検討する。</p>
高知西南交通株式会社	西富山・蕨岡エリア	<p>②今後改定予定の地域公共交通計画について、住民ニーズを把握し、利用者数、収支、公的負担額等の定量的な目標を設定。</p> <p>→来年度、地域公共交通策定年度に当たり、利用者アンケート及び住民アンケートを実施予定であり、アンケート結果を基に目標を設定予定。</p>	<p>B</p>	<p>B</p> <p>【目標達成率】82.3% (目標:642人/年、2.1人/日) 【実績】529人/年、1.8人/日 (対前年比:100.0%) (対前々年比:100.0%) 【収支率】1.8% (前年比:±0%) (前々年比:-5.2%)</p> <p>利用者数は前年度、前々年度と同じ水準となっており、利用者が固定されている該当エリアにおいて、これまで利用をしてこなかった人への利用促進、啓発活動が必要であるが、実施できなかった事もあり目標を下回る結果となった。</p>	<p>・これまでバスを利用してこなかった人に利用してもらうために、広報誌に利用方法等の情報を定期的に掲載することで、認知度の向上を図る。</p> <p>・利用者アンケートを実施し、利用状況に応じた適切な運行形態を検討する。</p>